

H21.3.18

カーボン・オフセット事業計画
設計調査最終報告

人気施設と連携したカーボン・オフ セットモデル事業計画設計調査

財団法人

ひょうご環境創造協会

財団法人ひょうご環境創造協会 概要

所在地：神戸市須磨区行平町3丁目1番31号

設立：昭和47年5月31日（改組 平成8年4月1日）

理事長：原田 彰

役員：理事16名（内専任4名）監事2名

職員数：99名

基本財産：2億5千万円

（兵庫県、神戸市からの出えん金等）

平成12年4月1日～

「兵庫県地球温暖化防止活動推進センター」
の指定を受け、県民・企業・行政と連携して
温暖化防止活動に取り組んでいる。

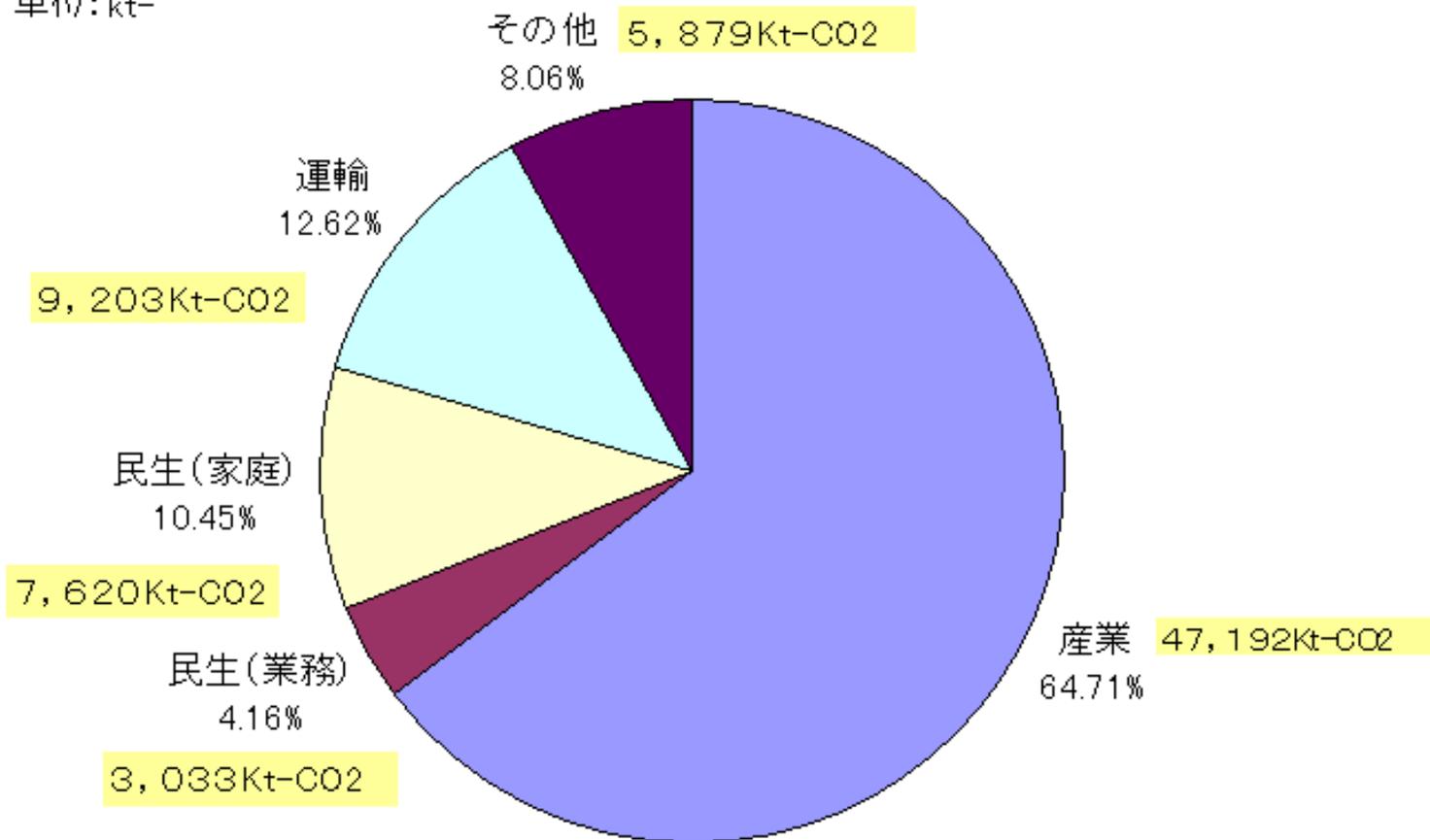


ストップ温暖化大作戦
一村一品 知恵の環づくり発表会

兵庫県の実業別温室効果ガス排出量

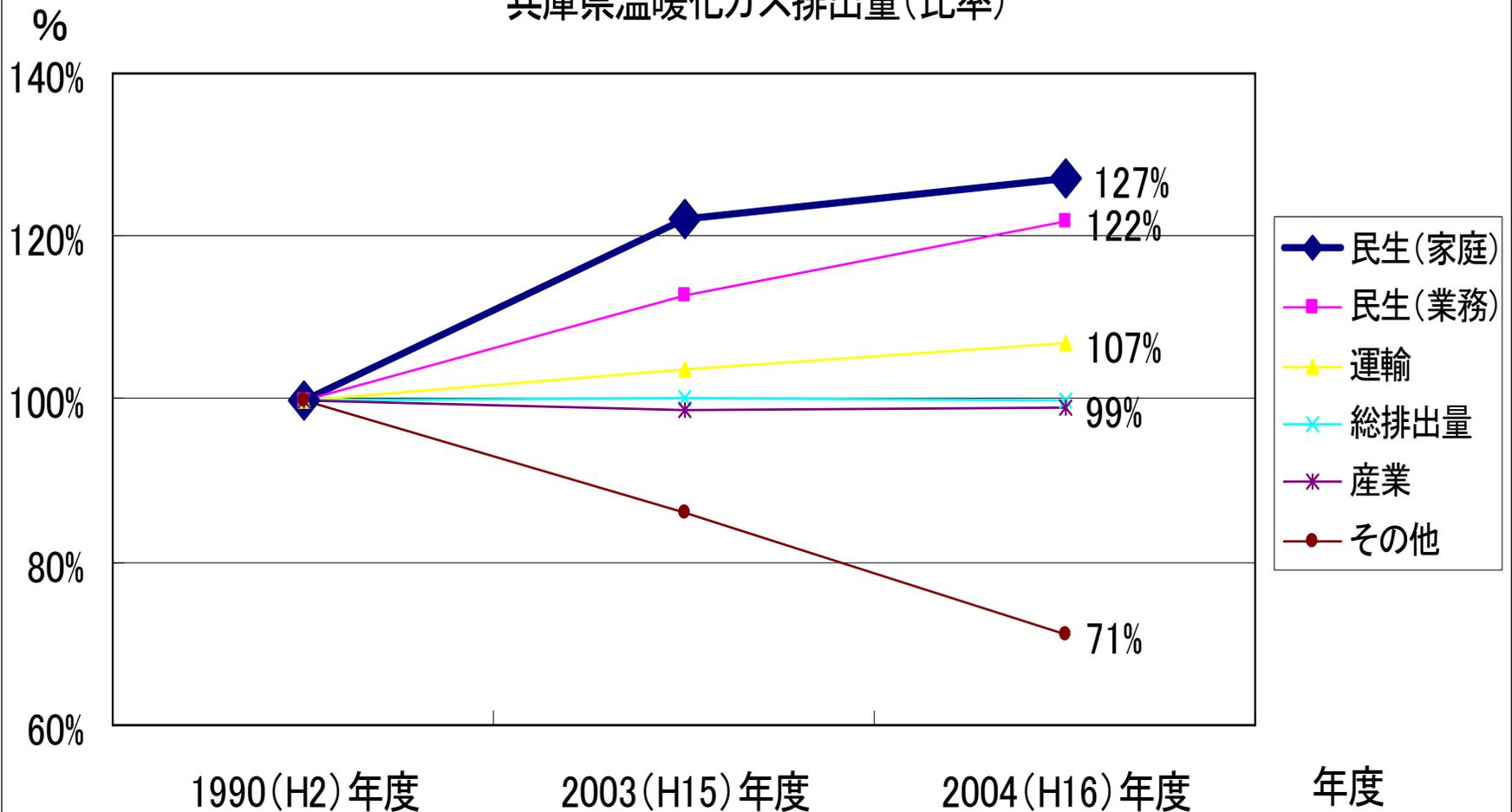
温室効果ガス総排出量 72,927Kt-CO₂

単位:kt-



兵庫県の実業別温室効果ガス排出量伸び率

兵庫県温暖化ガス排出量(比率)



I モデル事業概要

■ 事業名

人気施設と連携したカーボン・オフセットモデル事業計画設計調査
(グリーンエネルギー活用によるカーボン・オフセット)

■ 事業の背景

- ・民生(業務・家庭部門)部門のCO2排出量の増加(17年度実績:基準年度比+28%)
- ・人気施設の存在(阪神甲子園球場、ホームズスタジアム神戸、宝塚歌劇場等)
- ・既存の「ひょうごグリーンエネルギー基金」制度の活用

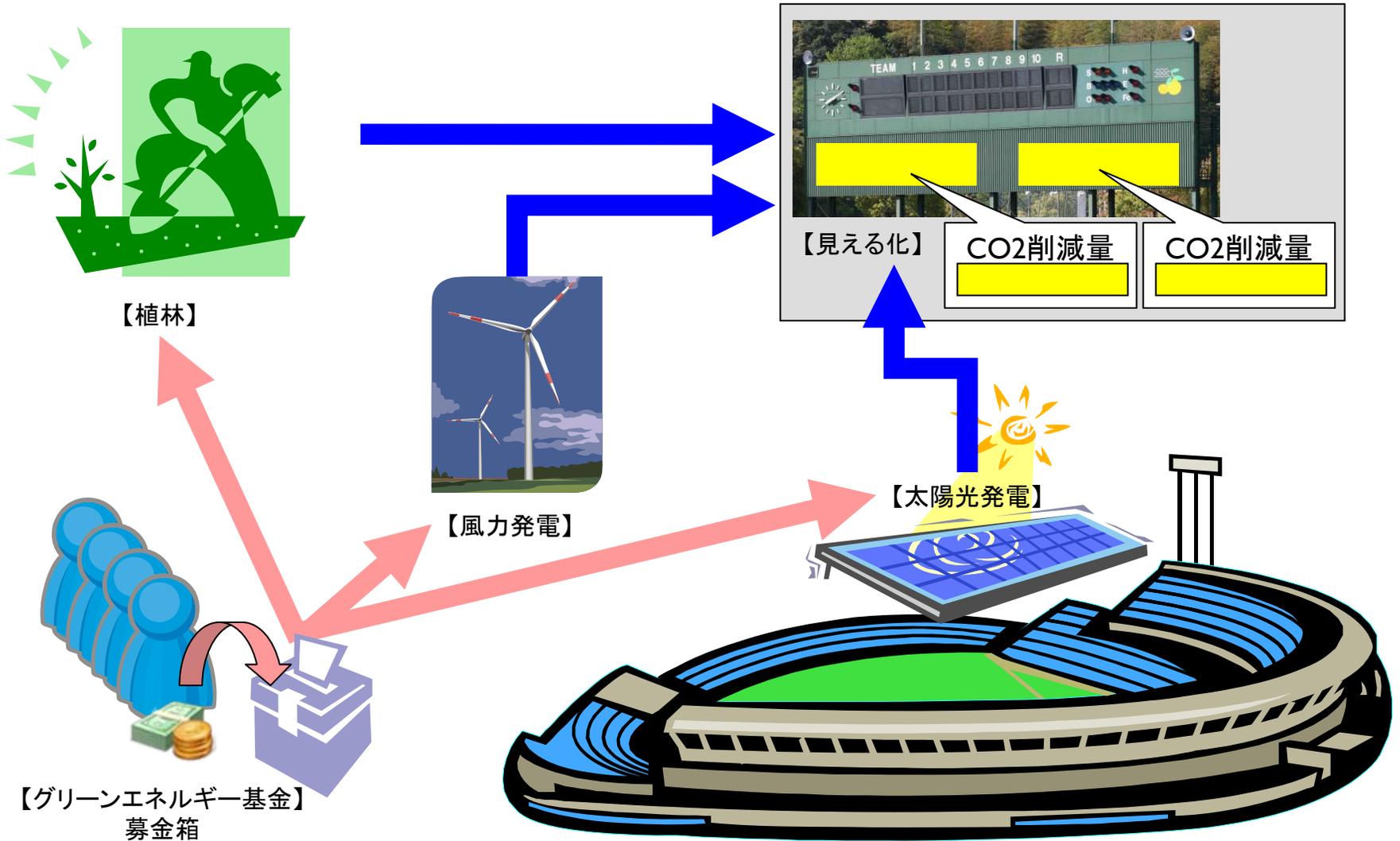
■ 取り組み(オフセット)の対象

- ・人気施設で使用する照明等に要する電力消費量

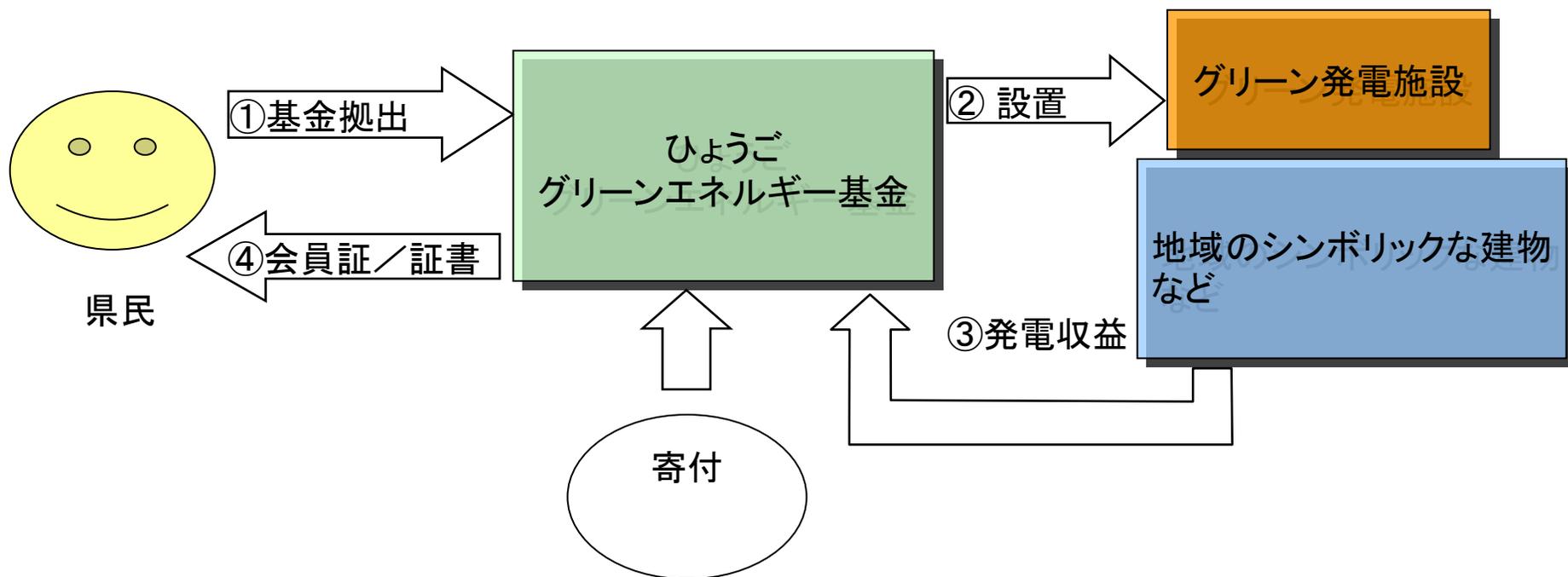
■ 基本的な考え方(オフセットの手段)

- ・地球温暖化防止活動に楽しみながら参加できる機会を設定
- ・カーボン・オフセット試合の開催(入場者が入場料+オフセット代金(100円)を支払うことによりオフセットを実施、活動の参加意識を高める。)
- ・集まったオフセット代金により太陽光発電施設の発電電力をグリーン電力証書化し、オフセットを実施

人気施設と連携したカーボンオフセットモデル事業イメージ



ひょうごグリーンエネルギー基金の仕組みとその運用



グリーンエネルギー基金による発電施設設置状況



■ ヴィッセル神戸カーボンオフセット試合の実施

日時 平成21年3月14日(土) 14:00キックオフ

場所 ホームスタジアム神戸(神戸市)

試合 ヴィッセル神戸 vs フロンターレ川崎 (Jリーグホーム開幕試合)

目的 観戦者とともにCO2削減に取り組み、カーボンオフセットを広くPRする。

【ホームスタジアム概要】

最大収容人員 30,132人

建築面積 約31,706m²

床面積 約58,744m²

高さ 約45m

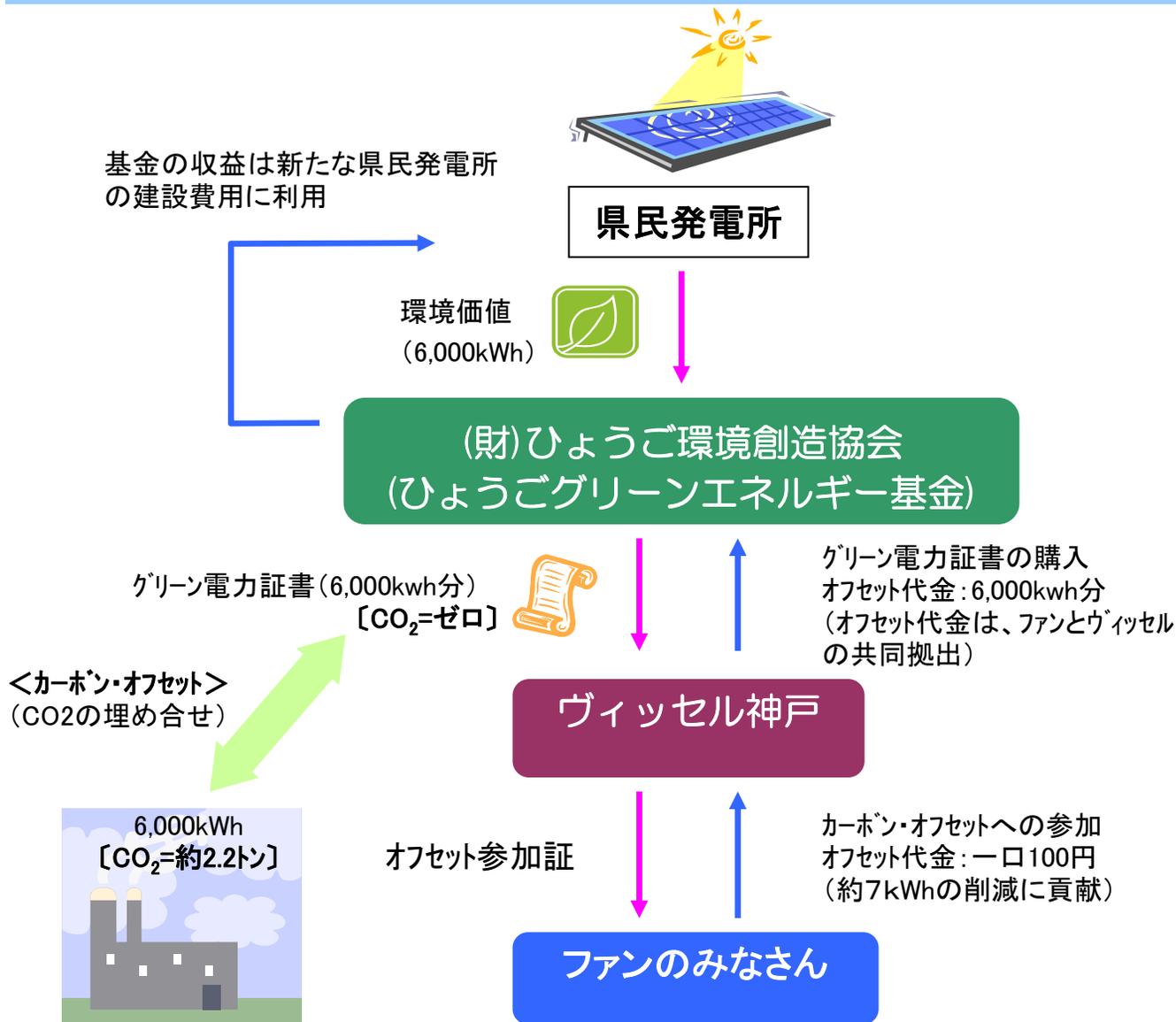
設備 開閉式の屋根

最新鋭の大型スクリーン

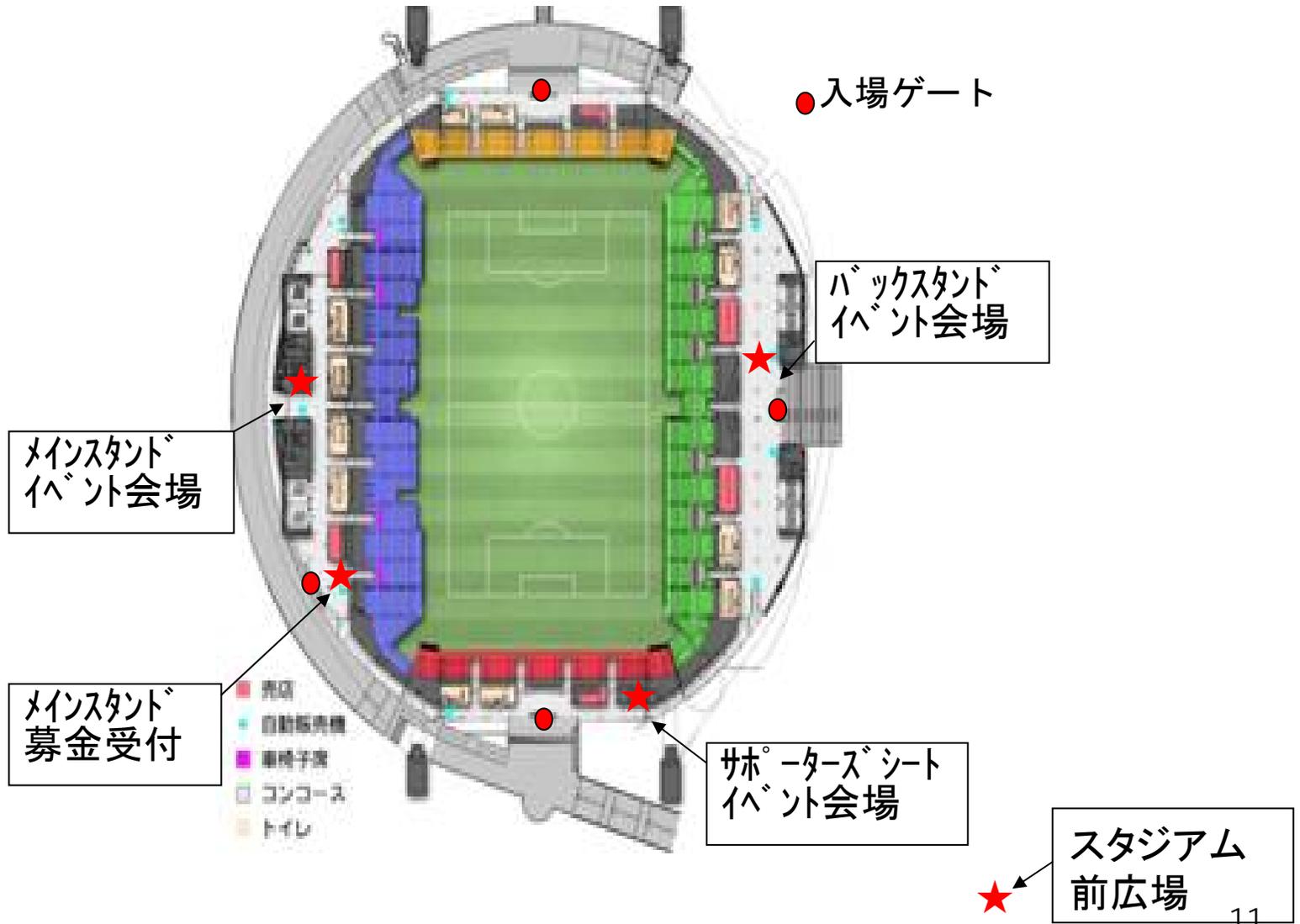


ホームスタジアム神戸(ヴィッセル神戸ホームページより)

カーボン・オフセット試合のしくみ



カーボンオフセットイベント・募金場所



カーボンオフセット配布パンフレット

環境省カーボン・オフセットモデル事業



カーボン・オフセットにご協力を
～オフセット募金 100 円でトモニ CO₂ を減らしましょう～



今、地球規模で温暖化防止のために二酸化炭素(CO₂)排出削減が推進されていますが、近年、新しい試みとして注目を浴びているのが「カーボン・オフセット」です。

人間の日常活動により排出されたカーボン(CO₂)に対して、まず出来る限り排出量を減らす努力を行い、それでも排出されたCO₂を太陽光発電施設の電力を購入することなどにより、排出された分のCO₂を埋め合わせする仕組みのことをいいます。

ヴィッセル神戸は、本日の試合において「カーボン・オフセット」を実施します。

この試合では、みなさまのご協力により集まった募金とヴィッセル神戸の出資と県内の太陽光発電施設の電力を購入することにより、試合開催で生じたCO₂の発生を埋め合わせします。

ぜひ、カーボン・オフセット募金にご協力をお願いします。募金の受付は[イベント会場位置図]の★の場所以で行っています。

募金ご協力をいただきました方には、カーボン・オフセット参加証を差し上げます。

本日のカーボン・オフセット試合について
本日のゲームでは、スタジアム全体で約 6,000kWh の電力を使うと予測しています。これをCO₂換算すると約 2.2tと推計されます。一般家庭で 1 日に排出されるCO₂の約 160 倍にあたります。
この 2.2t のCO₂は、みなさまの募金とヴィッセル神戸からの出資金計 90,000 円で、ひょうごグリーンエネルギー基金((財)ひょうご環境創造協会運営)により設置された太陽光発電施設の発電電力約 6,000 kWh の電力を購入することによりすべてカーボンオフセット(埋め合わせ)します。

カーボン・オフセットイベント

【時間】11:00～ハーフタイム終了まで

【イベント内容】

- カーボン・オフセット募金受付(一口 100 円)
- 参加には、**募金応募入場券(参加証)を差しあげます!**
- 環境クイズ&抽選会
クイズに参加したら、ステキな賞品が当たるかもしれない特別にチャレンジ!
- はばタンとの写真撮影会(時間はイベントブースに提示)
県のマスコット「はばタン」と一緒に記念写真を撮ろう!

【イベント会場位置図】

【主催】兵庫県、(財)ひょうご環境創造協会、兵庫県大気環境保全連絡協議会
【協賛】大阪湾広域圏環境整備センター

カーボンオフセット参加証

(表裏)

カーボン・オフセット参加証

あなたからいただいた募金は、ヴィッセル神戸の 2008 年リーグゲーム総収入約14億3440万円の約0.0007%にあたり、電力約 6,000kWh のうち、100 円あたり約7kWh(CO₂換算で約2.2t)分のカーボン・オフセットに貢献します。この試合のカーボン・オフセットによる削減された電力(太陽光発電)でまかなわれたグリーンエネルギーを応援するつもりで、この取り組みを通じて「エネルギーの地産地消」を実現しようとしています。

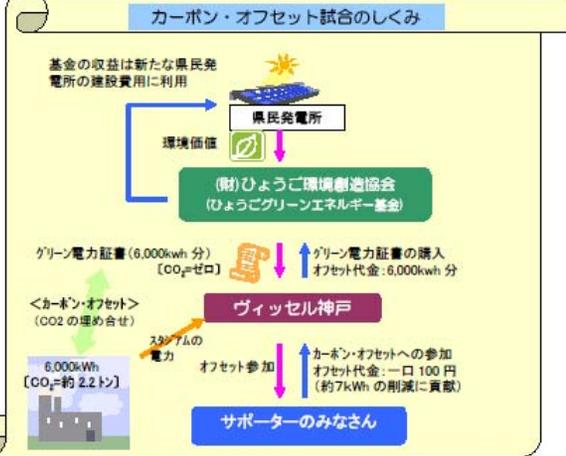
トモニ未来の地球のこと、考えたいきましょう!

※詳しくは、(財)ひょうご環境創造協会のホームページをご覧ください。
(http://www.eco-hyogo.jp/)

(裏面)

◎ヴィッセル神戸

CO₂ 排出量を減らすため、公共交通機関の利用、ゴミの持ち帰りなどにご協力をお願いします。



カーボン・オフセットって?
「カーボン・オフセット」とは、私たち人間の活動を通して排出されたCO₂について、自分の排出量を認識し、削減努力をしても削減しきれない量の全部または一部を、他の場所での削減量(太陽光発電による電力など)を購入することなどにより埋め合わせすることをいいます。



カーボンオフセット参加証

(おもて)

カーボン・オフセット参加証

あなたからいただいた募金は、ヴィッセル神戸の2009年Jリーグホーム開幕戦【3/14(土)14:00キックオフK.O.】で使用される電力(約6,000kWh)のうち、100円あたり約7kWh(CO₂換算で2.6kg)分のカーボン・オフセットに貢献します。
この試合のカーボン・オフセットは、兵庫県内の県民発電所(太陽光発電)で生み出されるグリーン電力証書によって実施するもので、この取り組みを通じて「エネルギーの地産地消」を進め、CO₂の削減につながっていくものです。

ともにトモニ未来の地球のこと 考えていきましょう！

※詳しくは、(財)ひょうご環境創造協会のホームページをご覧ください。
(<http://www.eco-hyogo.jp/>)

(うら)



ヴィッセル神戸カーボンオフセット試合の状況(1)

募金箱と参加証



イベントブースとはばタン

ヴィッセル神戸カーボンオフセット試合の状況(2)

環境クイズに挑戦



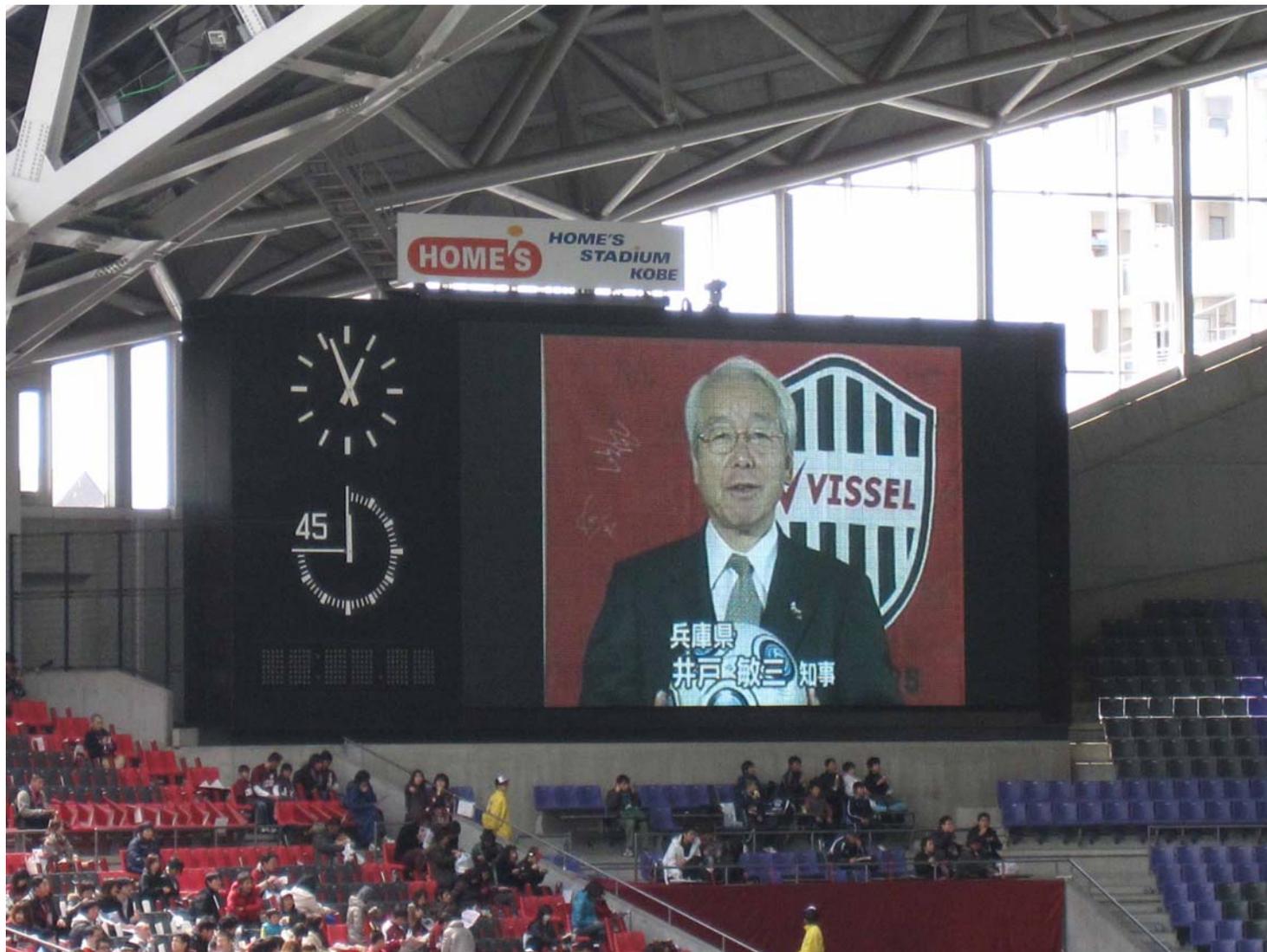
はばタンによる呼びかけ

ヴィッセル神戸カーボンオフセット試合の当日写真(3)



場内での募金受付

兵庫県知事によるカーボンオフセットへの協力呼びかけ



大型スクリーンでの募金呼びかけ



スタジアムの照明



カーボンオフセット試合実施結果

試合の観客数	15,195人
試合で使用された電気量	約6,000kwh
試合で排出されたCO2量	約2.2t
募金者数(約900名)	93,013円
購入する太陽光発電量	約6,000kwh

まとめ

①カーボンオフセットのPRの推進

地元人気チームが実施するカーボンオフセットモデル試合ということもあり、新聞などマスコミに取り上げられ、普及啓発効果が大きかった。

②国民・行政・企業の連携した取組の推進

カーボンオフセット試合は、国民・行政・企業が一体となって取り組むことが必要。また、認証機関の設立など認証制度も検討すべき

（兵庫県はカーボンオフセットモデル要綱を制定、企業は選手写真を無償提供）

③自主的な取組の推進

カーボンオフセット試合は、ファンによる自主的な取組を育成することが必要（例：ファンによる募金、森づくり、太陽光発電施設の設置）

④「見える化」の必要性

試合中にどれだけCO₂を排出し、どのように募金を活用し、どれだけ削減できるか、募金者がリアルタイムでわかる表示が必要